



# 西川町 議会だより

「若い人」シリーズ  
「睦愛會」のみなさん

活動紹介は裏表紙にあります。

2012.7.13 81号

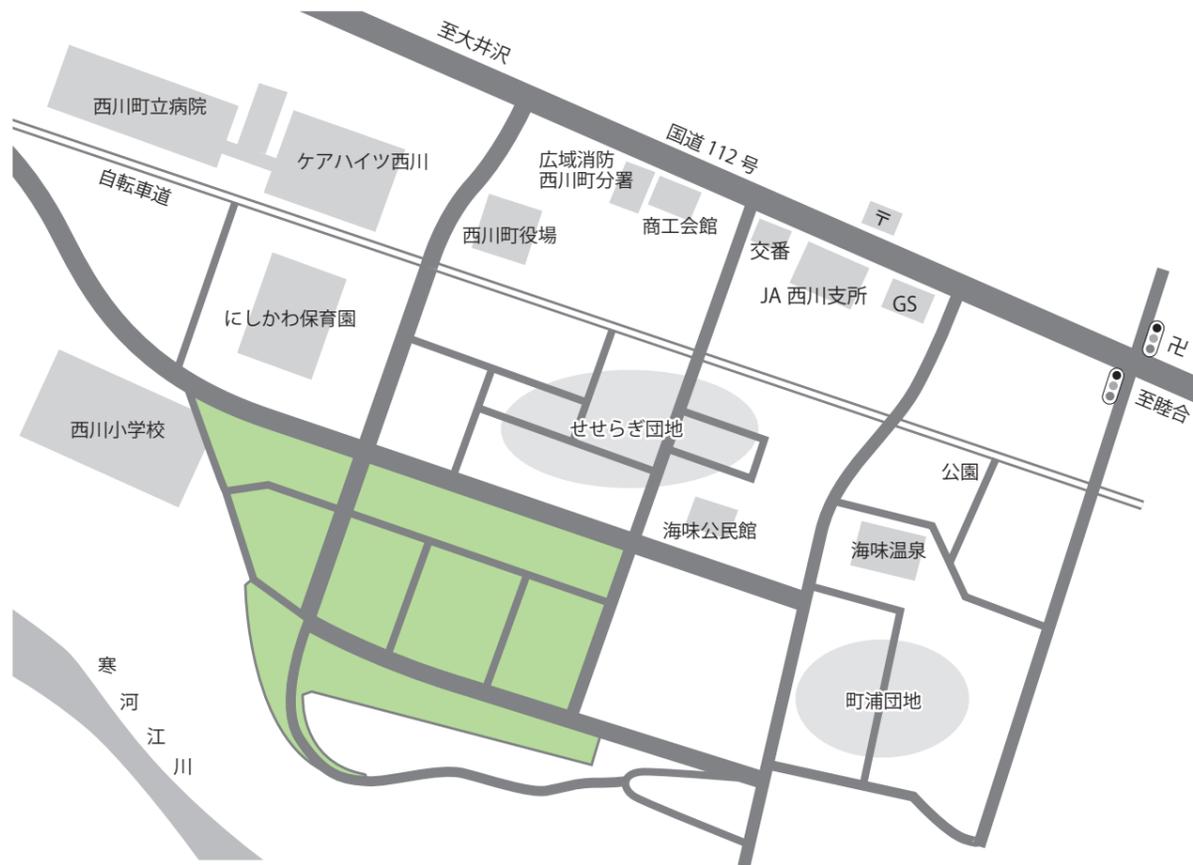
発行 山形県西川町議会

6月定例議会	2
臨時議会	5
一般質問 6人の議員が一般質問	6
議会だよりモニター募集	9
常任委員会の活動	10
全員協議会報告	12
行政視察研修の報告	13
議会活性化調査特別委員会の活動	14
議会報告会へのお誘い	15

6月  
定例会  
議会

# 住宅団地

## 造成工事契約締結 分譲開始は平成25年秋



平成24年6月定例会は、6月5日から8日までの会期で開きました。  
住宅団地造成工事の請負契約、補正予算、条例の一部改正の他に、一件の請願が提出されました。

### 住宅団地造成

町の拠点地形成の重要な政策である、住宅団地造成工事の請負契約の締結について提案があり、全員賛成で可決しました。

町内5業者を指名して行なわれた競争入札の結果、1億2千390万円が落札し、宅地の分譲は平成25年の秋ころに開始される見通しとなりました。

**質** 県の指導にあるように一般競争入札にしてはどうか。

**答** 町内の企業育成を考えると、町内企業で

できるものは、指名競争入札をしているが、今後検討していく。

### 条例改正

電気通信格差是正事業分担金徴収条例の一部改正

携帯電話会社から、芦沼田基地局鉄塔建設整備事業の分担金を徴収するための改正です。携帯電話が使用できなかった芦沼田地区に、町が鉄塔を建設して、平成25年1月頃から携帯電話が通じるようになります。事業費は4千200万円となります。(全員賛成)

**質** 事業者に鉄塔建設をさせることはできないのか。

**答** 採算ベースからできないとの回答であったため、補助事業で行う。

**質** 沼山の中岫も電波が届かないので、今回の芦沼田の工事に対応できないか。

**答** 補助事業は、全ての携帯会社が不感地帯のみ対象となっている。中岫はドコモが通じるので対象とならなかった。

# 臨時議会 固定資産税に課税誤り

## 特別職減給処分

**第1回臨時議会 4月27日開催**

固定資産税の課税誤りによる還付金の追加補正と、これに伴う特別職の減給に関する条例の一部改正が審議され、全員賛成で可決されました。

詳細については、4月20日の全員協議会で、次のとおり説明を受けています。

「納税者からの指摘により、平成9年に建築された建物について調査したところ、課税誤りが判明し、その他にも2件の課税誤りが発見された。

3件とも、主要構造の適用を、担当職員が誤って適用していたことに長年気づかず課税し続けていた。」

町は、今後の再発防止策として、複数のチェック体制を取るとしています。

課税誤りの責任を取って、町長は20%、



▲ 町民税務課



▲ 地すべりにより地割れが発生した鶴部道

**第2回臨時議会 5月25日開催**

住宅団地造成事業用地の取得について提案があり、審議され全員賛成で可決されました。

取得金額は、7千946万7千円、面積は2.9ha、地権者15名です。

副町長は10%を一ヶ月間減給処分することになりました。

臨時議会では、このほか教育費と災害復旧費の追加補正も審議され、全員賛成で可決されました。

### 主な補正内容

・総務費  
固定資産税の課税誤りによる還付金351万円1千円を追加。

・教育費  
スクールバス乗降時における安全確保の補助員配置に、46万3千円を追加。

・災害復旧費  
凍上災害査定資料作成業務委託費と、町道下堀鶴部線道路災害復旧工事費に700万円を追加。

### 第3回臨時議会 6月29日開催

除雪車1台、消防自動車2台の購入について提案があり、全員賛成で可決されました。

車名等	台数	購入価格(円)	購入先
除雪ドーザ	1	13,996,500	(株)KCMJ東北支社山形営業所
消防ポンプ	2	34,440,000	(株)長谷川ポンプ製作所

# 補正予算

一般会計は、当初予算額に3千778万5千円を追加し、47億1千875万9千円に、介護保険特別会計は、当初予算額に420万円を追加し6億5千841万円になりました。(全員賛成で可決)

## 主な補正予算

<b>■一般会計</b>	
<b>総務費</b>	
月山湖水の文化館、改修工事	220万円
水沢温泉館、外庭の目かくし柵工事	367万円
<b>民生費</b>	
児童手当法改正によるシステム変更	445万円
<b>衛生費</b>	
合併処理浄化槽設置補助金	324万円
<b>農林水産業費</b>	
みどり環境交付金事業の県交付金	▲218万円
仁田山放牧場、格納庫屋根の修繕料	98万円
<b>商工費</b>	
国際観光誘客推進事業費	17万円
<b>土木費</b>	
豪雪による対策事業補助	310万円
コーポ睦合の網戸設置工事等	217万円
木造住宅の耐震改修補助金	180万円
公園の維持管理経費	158万円
<b>教育費</b>	
小学校の業務員1名増員等	155万円
睦合小学校相撲場解体工事費等	140万円
海味雅楽の楽器購入助成事業	250万円
<b>災害復旧費</b>	
農林災害復旧事業補助金	208万円
<b>■介護保険特別会計</b>	
地域包括支援センターへの	
*ソーシャルワーカー人件費等	420万円

※ソーシャルワーカーとは、お年寄りや障害者などに対して、福祉の相談と援助をおこなう人

### 質疑・応答

**質** 天狗山登山道整備事業委託費が減額されている。減額と整備内容はどうなっているか。

**答** 県に370万円要求したが減額され160万円になった。来年以降も要求していく。工事

**質** 内容は、登山道整備で伐採や階段工事である。

**質** 農林災害復旧事業補助金の対象はどこか。

**答** 本道寺の水路災害復旧工事である。

**質** 雪害による復旧の調査は、いつごろ

までかかるのか、また箇所数は。

**答** 林道と農道の災害が多くあり、調査中である。国の補助金を使わないとできない。

## 意見書の提出 全員賛成で採択 村山総合支庁西庁舎の充実と機能強化を求める意見書 請願

寒河江市にある山形県村山総合支庁西庁舎の税務課と農村整備課を来年度から廃止して、山形市にある村山総合支庁に統合するという案が、今年4月に山形県から、県議会に対して出されました。

西庁舎の機能は、段階的に縮小されており、西村山地方に暮らす私たちは、県行政の窓口が遠くなり、不便を強いられています。

このことについて、意見書の提出を求める請願が出されたことを受け、議会として、西庁舎の機能存続を、県に強く要望します。

### 意見書の内容

- 1 総合行政機能を持つ西庁舎の維持・存続
- 2 西庁舎の見直しについては、一律に簡素・効率的な面でのみ捉えることなく、市町村と連携した地域づくりの拠点として充実させ、機能の強化を図ること

提出先 山形県知事

同時に、山形県議会議長にも要望書を提出しました。



伊藤 哲治 議員

## 過疎計画

# どのように展開し、今後のまちづくりに活かしていくか

町長 5次総後期計画の具体的な進展を図る



▲ 職員研修報告会

また、全国的な研修にも積極的に派遣し、意識の改革と能力向上を図っている。

**質** 西川町過疎地域自立促進計画と西川町第5次総合計画後期実施計画の整合性を図り、どのように展開して、今後のまちづくりに活かしていくのか。平成27年度までの重点施策は何か。町職員のやる気を醸成し、5次総後期実施計画等を達成する上で、人材育成を今後どのように進めるのか。

**答** 過疎計画は国の財政支援の特例措置を最大限に活用し、5次総後期計画の「自立と協働の具体的進展」を図るための計画である。重点施策は後期計画の拠点地形成や総合産業推進、商工観光業の活性化、小中一貫教育、保健医療福祉の充実等により、自立と発展を目指している。

## 観光

# 生きいきした観光行政を展開せよ

町長 人材の配置と機運づくりに努める



佐藤 幸吉 議員



▲ 毎月発行の観光案内所だより

観光交流人口を増やしていく上で、観光事業者のみならず町民の方の心とアイデアが大切なもので、その気運づくりに努める。

**質** 観光立町を標榜する西川町にとって、観光行政は大切な分野である。観光協会と観光案内所を一体化すれば、人的にも運営機能的にも効率化を図ることができ、長期採用型で人材を確保し、生きいきとした観光行政の展開をすべきではないか。また観光案内所だよりの「一声かけてみよう」の記事は、癒しや触れ合いの観光を求め、時代の相応しい。その運動を進めるための施策を講じてはどうか。

**答** 現在の観光案内所は、国の緊急雇用創出事業を活用し、観光協会が平成21年9月から設置運営しているが、今後も常設していくことが必要なので、経験や専門性を持った人材の配置を考慮していくべきと考えている。観光協会が効果的な観光情報の発信や誘客活動を実施する上で、案内所と一体化していく利点は大きいと考えられるので、引き続き関係者との協議を進めていく。

## 一般質問

# 明確な答弁を求める!!

### 一般質問とは

町の行財政全般にわたって、問題や課題を明らかにし、政策の改善や新規の政策の採用を求めるために行なう論議

## 買い物

# 移動販売車への助成事業が必要では

町長 助成等の支援は考えていない



青山 知教 議員



▲ みんなが待っている移動販売車

**質** 6月4日の新聞報道によれば、食品の買物に不便をきたしている人口は全国で90万人。町は、相次ぐ商店の閉店による買物弱者の現状をどのように把握しているか。日中、高齢者が家庭や地域の安全を守らざるを得ない現況の中、移動販売車の役割の大きさに期待する。みんな支えあう中山間地域づくりの支援事業として、移動販売事業への導入支援や運営助成等を考慮する必要があるか。

**答** 町内の多くの世帯品などの買物をこなしており、いわゆる交通弱者が買物弱者でもあると思う。現在、町内の複数の商店が移動販売車による営業を行っており、地域の人たちが集う場としても、また、一人暮らしの方や高齢者世帯を見守る役割も果たしていただいていると理解している。移動販売車での買物は、山間部の買物不便地域だけでなく町内の広い地域で町民に利用されているが、一義的には営業行為であり、販売車導入や運営に対する助成等の支援は現時点では考えていない。



奥山 敏行 議員

# 観光 西川町ふるさと宝マップの活用を急げ

## 町長 見直し作業と全戸配布を急ぎ検討する



▲ 宝発見！西間沢溝の前にある不動尊

布、または、有料斡旋できると検討している。

**質** 平成22年に全戸配布した「西川町ふるさと宝マップ」の活用は、昨年6月議会では、宝マップと六十里越街道を使いながら、健康と文化の見直しに活用すると答弁。3月議会では、「宝マップの内容を精査して各地の宝を入れ、付加価値の高いものにして郷土の文化学習や地域づくりの教本、観光ガイドマップなどとして活用できるように、冊子にすることを検討する」と回答しているが、現在の進み具合はどうなっているか。

**答** 現在、地区ごとの「ふるさと宝マップ」を、区長や町内会長、公民館長などに対して再配布し、訂正事項の確認や新たな地域資源の追加などを行っていたり、作業を進めている。また、その中で、学びながら健康づくりができるモデルウォーキングコースの距離の確認作業を行い、マップに落とし込めるよう工夫していきたいと考えている。さらに、それらを整理し、各地区のマップを一冊にまとめ、できれば、新年度に全戸配布、または、有料斡旋できると検討している。



佐藤 耕二 議員

# 路線バス デマンド便の利用方法を高齢者に分かりやすく

## 町長 声を大切にしながら対応していきたい



▲ 路線バスで「行ってきます」

**質** 町は、電話予約に応じて運行する路線バスのデマンド便を4月から運行しているが、高齢の方々は、利用方法が分かりにくいよう、使い勝手が悪く、たいへん苦労している。また、配布された時刻表は、文字が小さく、デマンド、混乗、などの意味も分かりにくいと聞く。地区ごとに、大きな文字と分かりやすい表現による時刻表を作成して配布するなど、高齢者にやさしい対応はできないか。

**答** 今年の4月から運行を開始した路線バスは、新しい交通体系となり、利用者の少ない便は、デマンド便として運行している。デマンド便は、平成18年度から開始しており、今年度は6便増加した。高齢者の方々にデマンドについて早く馴染んでいただくためには、利用しやすくなるように、利用者の声を大切にしながら対応していきたいと思っております。時刻表は、どのようにすれば見やすくなるのか、来年度に向けて検討していきます。

# 募集しています

## 議会だよりの愛称

読んでみようかなあ、と手に取ってもらえるような愛称を募集しています。

「西川町議会だよりの」というカタイ名称に、親しみやすい愛称をつけてください。採用された方には粗品差し上げます。

## 読者モニター (若干名)

読みやすい広報誌にするために、年4回発行する「議会だよりの」モニターを募集しています。小学生や中学生のみなさんも大歓迎です。ボランティアによるご協力をお願いします。

## 文章アドバイザー (若干名)

国語の基礎知識をお持ちの方で、議会だよりの校正や推敲のお手伝いをしてくださる方を募集しています。ボランティアによるご協力をお願いします。

## 応募の締切日

8月31日(金)午後5時まで  
に、ご連絡をお願いします。

## 連絡先

西川町議会事務局

電話 74-5055

Fax 74-4466



議会だよりの編集会議

# 保育 安心できる保育制度の継続を

## 町長 保育サービスの低下はさせない



飯野 咲子 議員



▲ 安心保育「ピース!」「あれ…?」

**質** 平成25年度からの実施を目指して審議されている「子ども・子育て新システム」法案は、「子育ては国と地方の公的責任」とする児童福祉法24条を廃止して、保育の市場化を進めるものであり、保育現場と保護者から混乱と不安の声が上がっている。国の予算は措置費から給付に、保育料は応能負担から応益負担に変わろうとしている。最低基準の廃止など、国に対して断固見直しを求めるべき。

**答** 児童福祉法24条は、廃止でなく改正であり、法案では、市町村は保育を確保する措置を講じなくてはならないとされているので、これまで同様と理解している。また、保育料は応能負担を基本として定められており、最低基準を廃止して地域型保育給付として創設し、19人以下の小規模保育施設等も給付対象とするものになっている。法案は、現在国会で審議中なので、内容を精査し町の対応策を検討するが、これまで実施してきた保育等サービスの低下を招くことがないように努める。

※応能負担 利用者の所得に応じて、異なる負担  
※応益負担 利用者の所得に関係なく、一律となる負担

重要  
案件に

議会閉会中もこんな 活動をしています

# 新たに 目を向けて

総務厚生  
常任委員会

## 1. 光ケーブルの高度利用

エリアメールと防災情報  
光ケーブルを使って町内独自のテレビ放送  
町のホームページ等に動画配信

## 2. 病院経営の現状と課題

## 3. 保健医療福祉事業の取組

## 4. 小・中学校の安全対策の実情

通学並びに構内の安全対策  
西川小学校図書館の利活用の状況

産業建設  
常任委員会

## 1. 克雪から利雪へ

自然エネルギー低温貯蔵

## 2. 県内の特徴ある農業生産物

## 3. 流雪溝整備の進捗状況と今後の予定

## 4. 西川町商工業の現状と課題

農商工業の振興  
製材業の現状と課題



▲ 西川町立病院の待合室

1. 東日本大震災以降、各地で情報の発信と連絡網の不備が浮上している中で、確実に速やかに町民に情報を伝達する方法や、議会や町の情報を、インターネットを使えない人でも、自宅で簡単に見ることができるといった方法の検討。

2. 町民が、安心して利用できる身近な病院として今  
3. 東日本大震災以降、各地で情報の発信と連絡網の不備が浮上している中で、確実に速やかに町民に情報を伝達する方法や、議会や町の情報を、インターネットを使えない人でも、自宅で簡単に見ることができるといった方法の検討。  
4. 後とも存続させるための課題整理。  
3. 保健医療福祉計画の具体的な進め方。  
4. スクールバスや学校の安全管理、西川小学校図書館の活用。

More than 10 years ago



▲ 最上町のアスパラガス選果場

1. 農産物の保存等、雪の多い西川町に雪室施設を設け、雪の活用を図る施策を検討してはどうか。  
2. アスパラガスを中心に地域振興を図っている最上町は、農協との連携の下、選果場の雇用を確保するなど、総合産業化に向けた取り組みが進んでいる。少量から量産を目指すことが西川町の課題といえる。

3. 流雪溝整備計画の課題は、水量の確保や水利権等の調整が必要である。  
4. 厳しい状況下にある各産業の課題。  
・小売業の活性化を図るための施策の創出。  
・木材乾燥施設の建設により木材需要の振興。

More than 10 years ago

# 議会運営委員会行政視察

6月18・19日

# 他市町村に学ぶ

## 市民による事業仕分け

秋田県横手市は、平成17年に1市5町2村が合併した、人口約10万人の市である。

合併により、数多くの類似した事業や公共施設を有することから、市の行財政改革に活かしていくことを目的として、平成18年度から事業仕分けを実施しているというものであった。

事業仕分けは、平成22年度から本格的な実施となり、仕分け方法は、現在行われている1千700事業の中から「外部仕分け」として40事業を、「内部仕分け」として60事業を選択する。外部仕分けは、公募や識見者、高校生を含む市が委嘱する委員等30人の仕分け人が5班体制で実施し、内部仕分けは、セルフアセッサを中心とする市職員20人の作業グループが4班体制で行うというものであった。

仕分けの結果は、次年度の予算や事業に反映される仕組みになっていた。事業評価の実施を計画している西川町議会にとって、

## 第6次西川町総合計画策定方針

平成26年度以降10年間の新しいまちづくりの指針  
○町民との協働による計画づくり  
○分かりやすい計画づくり  
○施策の絞込みによる重点主義の計画  
策定体制は、総合政策審議委員20名とまちづくり委員20名、庁内の総合計画策定会議メンバーの3者で、基本構想を練りながら「町長と語る会」で町民の方々と、意見交換をおこなう。

## 廃校舎の利活用

基本方針  
○耐震性のない建物は解体する。  
○耐震性のある建物は、町や地域での利活用を優先。利活用しない場合は一般公募を行なう。  
○応募がない場合は解体する。  
○避難施設となっている建物は、調整後、対応策を決定する。  
○解体後の跡地については、別途検討する。



▲ 利活用が検討されている川土居小学校

## 地域防災計画の見直し

計画書を9年ぶりに改正。現状にあった計画書を作成し、災害時には、総合的かつ迅速に対応していく。

## 経営報告

第21期西川町総合開発株式会社  
売上高5億3千97万円  
前年度対比105%だが、営業



▲ 吉川にある俵米月山

たいへん参考になった研修となった。

## 空き家対策

秋田県東成瀬村は、人口が2千800人程で、毎年2mを超える積雪がある。世帯

数は893世帯で、空き家が66戸であった。

平成24年の1月1日に「空き家等の適正管理に関する条例」が施行されたが、その内容を簡単に説明すると、

◆危険な状態となった空き家の修繕や解体を所有者に指導する。  
◆解体する場合には一定の補助金がある。  
◆指導に応じなかった時は、村が強制的に解体等を行い、所有者に費用を請求する。  
◆また、一定の条件を満たせば廃屋や土地を村へ寄付することができる。

というものである。  
空き家の放置は、景観を悪くし、近隣の住民に不快感を与えてしまう。また、雪国では、屋根からの落雪や建物の倒壊により、隣家や通りがかかった人に被害を及ぼす危険性もある。  
西川町においても、廃墟化が進んだ空き家が数多く見られるようになったが、個人の資産であることからその対応に苦慮している。

この条例を参考にして、町の取り組みを考えなければならぬと強く感じた。

# 議会報告と対話の集い みなさん!参加してください!

議会はみなさんの声を代表する組織です。積極的に発言をして、みんなで住みよい町をつくりましょう。  
※どの地区にでも参加することができます。

開催日	時間	地区名	会場	担当議員
7月23日(月)	午前10時	志津	志津会館	井場榮治、青山知教、佐藤幸吉 横山 修、佐藤耕二
7月23日(月)	午後7時30分	海味	海味公民館	宮林昌弘、青山知教、佐藤幸吉 横山 修、佐藤耕二
7月27日(金)	午後7時30分	網取	網取公民館	井場榮治、青山知教、佐藤幸吉 横山 修、佐藤耕二
7月27日(金)	午後7時30分	沼山	沼山公民館	宮林昌弘、古澤俊一、伊藤哲治 奥山敏行、飯野咲子
7月30日(月)	午後7時30分	本道寺	本道寺地区集会センター	宮林昌弘、青山知教、佐藤幸吉 横山 修、佐藤耕二
7月30日(月)	午後7時30分	水沢	高齢者コミセン	井場榮治、古澤俊一、伊藤哲治 奥山敏行、飯野咲子
7月31日(火)	午後7時30分	間沢	間沢公民館	井場榮治、青山知教、奥山敏行 佐藤幸吉、飯野咲子
8月 1日(水)	午後7時30分	岩根沢	岩根沢公民館	井場榮治、古澤俊一、佐藤幸吉 横山 修、佐藤耕二
8月 1日(水)	午後7時30分	吉川	吉川公民館	宮林昌弘、青山知教、伊藤哲治 奥山敏行、飯野咲子
8月 2日(木)	午後7時30分	入間	入間公民館	宮林昌弘、古澤俊一、伊藤哲治 奥山敏行、飯野咲子
8月 2日(木)	午後7時30分	小山	小山児童館	井場榮治、青山知教、佐藤幸吉 横山 修、佐藤耕二
8月 3日(金)	午後7時30分	睦合	睦合公民館	宮林昌弘、古澤俊一、伊藤哲治 横山 修、飯野咲子
8月 6日(月)	午後7時30分	大井沢	大井沢交流センター	宮林昌弘、古澤俊一、伊藤哲治 奥山敏行、佐藤耕二

## 議会活性化調査特別委員会を設置

開かれた議会

分りやすい議会

# こんな議会をめざします

西川町議会では、議会活性化の方策として、一般質問の対面方式や一問一答方式を取り入れるとともに、議会だよりの充実や議会報告会の開催、本会議のインターネット生中継を実施してきました。このたび、さらなる議会活性化を図ることを目指して、特別委員会を設置し、次の項目について検討をしているところです。



- ・議会傍聴機会の提供と資料の提供
- ・対話の場の拡充
- ・住民の意見を反映するための制度
- ・請願、陳情者の説明機会の補償
- ・参考人制度の積極的活用
- ・住民の意見受付窓口の多様化
- ・傍聴人規則の見直し



- ・議事録の公開
- ・映像による公開
- ・議員個人の賛否結果の公表
- ・議案や資料の事前公開
- ・ホームページの充実
- ・議員の視察報告の公開



機能強化



- ・議会基本条例の制定
- ・議員間の自由討議の実現
- ・政策型議員提案の条例
- ・議会報告会の制度化
- ・議決権の拡大
- ・自己評価や第三者評価
- ・通年議会の採用
- ・専門的知見の活用
- ・ペーパーレスの取組み



## 議会の動き

- 議会運営委員会
  - 4月23日 第1回臨時議会の運営
  - 5月24日 第2回臨時議会の運営
  - 5月25日 第2回定例議会の運営
  - 6月18、19日 行政視察研修
  - 6月21日 第3回臨時議会の運営
  - 7月4日 第4回臨時議会の運営
- 議会全員協議会
  - 4月20日 固定資産税の課税誤り
  - 6月5日 西川町総合開発(株)経営状況報告等
- 総務厚生常任委員会
  - 4月12日 光ケーブルの高度利用
  - 5月22日 町立病院の現状と課題
  - 6月5日 請願審査
  - 6月8日 保健医療福祉計画
  - 7月12日 学校の安全対策等
- 産業建設常任委員会
  - 4月24日 雪を利用した農業施設等
- 議会活性化調査特別委員会
  - 4月17日 特別委員会の進め方
  - 5月25日 議会活性化に向けた課題解決
  - 6月12日 議会活性化に向けた課題解決
- 広報公聴常任委員会
  - 5月22日 流雪溝整備計画進捗状況等
  - 6月5日 商工業の現状と課題
  - 6月27日 アスパラガスと二ラ生産現地視察等
  - 7月6日 製材業の現状と課題
  - 4月27日 議会だより編集方針の検討
  - 5月22日 議会だより編集方針案の決定
  - 5月23日 県町村議長会広報研究会
  - 6月7日 議会だよりレイアウト会議
  - 6月20日 議会だより編集会議
  - 6月22日 議会活動報告会原案作成
  - 7月2日 議会だより第1回校正
  - 7月5日 議会だより第2回校正
  - 7月9日 議会だより第3回校正

「若い人」シリーズ 1

# 睦愛會の活動



会長 渋谷 洋子 さん (睦合 梅沢第2)

みなさんこんにちは。睦愛會です。今回、議会便りの表紙にということで、会のことを少し紹介させていただきます。

現在、睦合地区内外の会員50人程が睦愛會に在籍しており、小学生から大人まで縦のつながりを大切に活動しています。

睦合春まつりをはじめとする町内のイベントで、睦合ばやしと徳内ばやし演舞を披露しています。

会設立の発端は、睦合地区を元気に盛り上げたい、公民館による会合の中で、「村山市の徳内ばやしがいいのでは」との声が上がりました。

「まずはやってみよう」と10人程度で村山市の『ふもと山の神』という団体をお願いして弟子入りし、踊りを教えていただいたことが昨日のことのようです。あれから9年、今では自分たちで考案した踊りと自分たちで造り上げた山車で、村山徳内まつりに参加し、暑い夏を堪能しています。演舞している時の笑顔、

終わった時の達成感は何ともいえません。

睦愛會オリジナルの睦合ばやしは、西川の自然豊かな四季を表現した囃子となつていますが、これは、東北芸術工科大学和太鼓『太真』の、川口教授に作成していただきました。これから大切に演舞していきたいと思えます。

睦合ばやしは、西川中学校3年生の総合学習の選択授業にも取り上げられており、6月から10月までの総合学習の時間で、睦合ばやしと徳内ばやしの踊りを習得してもらっています。

中学生の皆さんは、会員と一緒に夜の練習にも参加しています。中学生にとっての本番は、西川中文化祭のステージ。最高の演舞が出来るように会員一同でサポートしてい



▲ 睦合区民春まつり

## 議会へのおさそい

皆さん傍聴してみませんか

インターネットでもご覧いただけます

次回定例会は  
**9月です**

私たちがこうして活動していられるのも、地区や町の皆さまのご理解があつてのことであり、感謝しております。

## 編集後記

生命輝く深緑の季節となりました。今年(今年)は閏年で、金星が太陽と重なったりして、宇宙の不思議を実感しています。全国各地では、竜巻や台風が発生して大きな被害もありましたが、西川町での被害はなく安心しているところです。

議会だよりの編集も2年目となり、読んでもらえる紙面づくりを目指して、取り組んでいるところです。

今年の編集方針の一つとして、新たに文章アドバイザーや読者モニター、そして愛称を募集します。是非、古報を。

議会報告会もはじまります。忌憚のない意見をいただき、一丸となつてがんばる所存ですので、よろしく願います。

(飯野 咲子)

- ご感想お寄せください。
- 発行・編集責任者 議長 井場 榮治
  - 編集委員 委員長 奥山 敏行
  - 副委員長 横山 修
  - 委員 飯野 咲子
  - 委員 佐藤 耕二